獬豸の形をした秀吉の枕（獬豸御枕）

この枕は、悪い夢を食い尽くすといわれる神話上の獣である獬豸の形をしている。中国の民間伝承に由来する獬豸は、一見したところでは象と見間違われることが多い。実際には象の鼻、サイの目、牛の尾と虎の足を持つキメラである。この枕は秀吉（1537-1598）自身が使用したと言われている。木製であり、上部は感触をよくするために革と綿で覆われている。この枕は悪夢を祓い、秀吉が安眠できるように作られたものかもしれないが、獬豸は鉄や青銅などの金属を食べる生物としても知られている。戦争中は金属はすべて武器として使用されるため、獬豸は現れない。よって獬豸は平和と関連付けられている。また、幸運をもたらし、剣や他の武器が近くにいることを保証してくれる。ということは、おそらく秀吉の暗殺を防ぐお守りとしても意図されていたのだろう。同様の理由で、武器が敷地内に入れないようにするために、獬豸を門に彫ることも多かった。